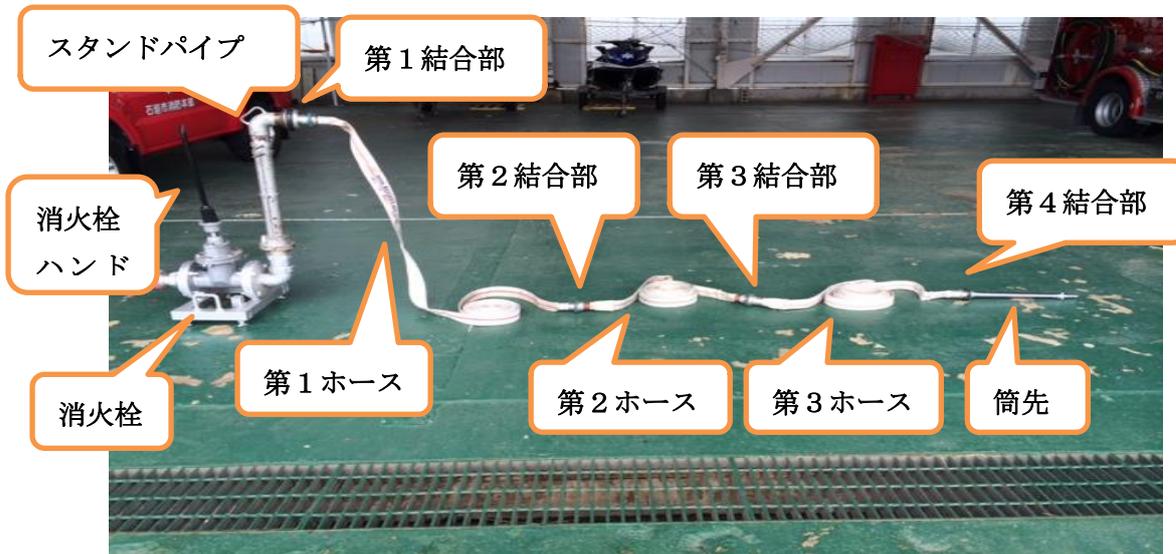


<自主防災組織講習会>

1、資機材説明



- ①消火栓（道路・歩道の地中） 市街地ではおおむね200m間隔にある。
- ②スタンドパイプ（消火栓が地中にあるため立ち上げる）
※取付・取外し確認
- ③消火栓ハンドル（反時計回りに開く・全開後少し戻す）
- ④ホース（長さ20m・40mm）1, 6MPa
- ⑤筒先

2、ホース取扱い

- ①使用後は乾燥させ保管。
- ②結合方法。
- ③5本程度まで有効放水可能。
※ポンプ車で2～8MPaまで実演（筒先の暴れ確認）
- ④オス金具・メス金具を間違えない（逆にもって行くと結合できない）
- ⑤二重巻方法（後で実際に実施）

3、危険防止

- ①展張時のオス部の長さ。
- ②ホースの高圧の暴れ。
- ③ホース延長距離。

4、実技

- ①ホース2重巻・展張要領。
- ②結合要領。
- ③3名1組で実際に操法実施。

<基本操作要領>

☆ホース展張要領



☆ホース結合要領



☆結合確認



☆筒先結合



<意図の伝達要領>



<危険防止>

☆余裕ホース



ホースを曲線状にくねらせる。
水圧によりホースが棒状になり動けなくなる事を防ぐ。

☆ホース展張



<1.2.3 番員操作共通事項>



<1 番員操作要領>



< 2 番員操作要領 >



②第1ホースオス金具保持・第2ホースを担ぎ第2結合部へ移動。



③第2結合部に至り、第2線ホースを延長し結合後オス金具を保持し第3結合部へ移動。



⑦火点に至り注水補助



< 3番員操作要領 >

① 第3線ホースと筒先を保持し第3第結合部に至る。



②第3線ホースを展開し筒先を結合

③筒先を結合後2番員の結合を待つ



③第2ホースと第3ホースを結合

④「放水始め」を復唱

④「放水始め」と呼称



